

市民活動推進基金 寄附者のみなさまへ

みなさまの寄附金で、 大阪を元気にする 7事業を実施しています！

～平成23年度 大阪市市民活動推進基金助成事業～

このたびは、市民活動推進基金へのご寄附ありがとうございました。
みなさまからいただいた寄附金を活用して、平成23年度は7事業を実施しております。
助成を受け、事業を実施している団体より、寄附者のみなさまへの報告が寄せられましたので、ご紹介いたします。
今後も、市民活動の推進のため、みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

～みなさまからこんなにたくさんの寄附金をいただきました～

平成22年1月1日～12月31日		平成23年1月1日～12月31日	
寄附金額	2,760,425円	寄附金額	2,519,221円
寄附件数	28件	寄附件数	18件

クリックひとつでできる市民活動！ クリック募金のご案内
平成21年10月より、「大阪市 市民活動のためのクリック募金」ホームページを開設しました。
協賛企業のバナーを1回クリックすることに3円が、協賛企業より寄附される仕組みです。
ぜひ一度ご覧ください！

【協賛企業一覧(掲載順・敬称略)】  で検索！

大阪市信用金庫	大阪信用金庫	(株)アルファテック
富士ゼロックスシステムサービス(株)	NTTコミュニケーションズ(株)	センコー(株)


事業報告(申請順)平成23年12月28日時点

事業名	ターミナル地下鉄駅のバリアフリー案内マップ作成配布事業		
団体名	NPO法人まちの案内推進ネット	助成額	650,000円

～助成事業を実施して～



エスエフエルの毎日の通勤・通学は、人工的な地下街もあり鉄道の乗換は健常者でもわかりにくく迷いやすい状況です。
エレベータを利用しなければならない高齢者・障がい者ではなおさらです。
そこで、ターミナル地下鉄駅と周辺を調査し、ホームから私鉄・JR駅へのバリアフリーな移動経路と地上出口をわかりやすく表現した案内図を作成し、持ちやすい印刷物マップ(A5、8ページ)にまとめ5万1千部作成しました。
市民・来街者が入手できるよう、区役所、地下鉄22駅、案内所、府・市・区の社会福祉協議会等を通じて配布しました。
また全国地下鉄駅バリアフリー案内Webサイト“えきペディア” <http://www.ekipedia.jp>にもこのマップを収載し、今後情報の更新を進めていきます。




事業名	精神科病院への訪問面会ボランティア養成事業		
団体名	特定非営利活動法人大阪精神医療人権センター	助成額	485,000円
<p>～助成事業を実施して～</p> <p>入院中の患者さんや家族は病院に対しては意見が言いにくい立場におかれています。 私たちは大阪府内の精神科病院に訪問し、患者さんの声を病院に伝えています。</p> <p>今回の助成事業を通して、座談会と講演会を開催しました。 訪問ボランティアを対象とした座談会では活動を振り返り、困っていることや悩みを共有しました。 講演会ではカリフォルニアでの精神障害者の権利擁護活動やその理念を学びました。現在、報告をまとめています。</p> <p>座談会や講演会に参加できなかった人や、今後、大阪や他府県でこの活動に参加する人にとっても「精神科病院への訪問とはどういうことか、何に気をつければいいのか」がわかる冊子とな</p>			
			

事業名	外国人の子どもの虐待やいじめに対する親子支援のためのサークル		
団体名	関西生命線	助成額	775,000円
<p>～助成事業を実施して～</p> <p>この度はご寄付を頂きまして心より感謝申し上げます。 本事業は外国人の親が少しでも日本の地域社会で安心して子育てができるように、特に子どもの虐待やいじめ問題に対して親を援助することを目的としています。具体的には、講師をお招きしての勉強会（月1回）、夏休み2泊3日の交流勉強会、クリスマス交流会を実施しました。このような場を通じ、親同士が母国語でそれぞれが抱える子育ての不安やストレスを互いに打ち明けることができ、子どもの学校生活において自信と勇気を与えることができます。参加者の声からも、今後も本活動を引き続き行っていきたいと思っております。</p>			
		 <p>夏休み2泊3日交流勉強会の一コマ</p>	
<p>最後になりましたが、当団体は平成23年度内閣府が行っている子育て・家族支援部門で内閣府特命担当大臣賞を受賞いたしました。 府内では唯一の受賞となり、平成23年11月総理大臣官邸で授賞式が行われました。 これも皆様方のあたたかいご支援のおかげです。ありがとうございました。</p>			

平成24年3月26日に、大阪市市民活動推進基金助成事業報告会を開催しました。

事業名	白浜レスキューネットワークとの自殺防止のための交流事業		
団体名	特定非営利活動法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター	助成額	495,000円
<p>～助成事業を実施して～</p> <p>一般参加の3名を含む大阪自殺防止センター相談ボランティアほか計20名が、1979年より白浜・三段壁近くで自殺を防止する活動を実施している「白浜レスキューネットワーク」の活動実践を聴くとともに、自殺多発地である三段壁を視察しました。</p> <p>年間100人近くの方を保護し、その内最大20人程の方と共同生活しながら就職や生活の基盤確保を支援される活動に心打たれました。</p>			
 <p>活動内容を聞く様子</p>		 <p>自殺を考える方に「寄り添う」という点で電話相談との共通点を感じ、一般参加の3人全員が、相談員養成講座に参加いただけることになり、大変意義ある事業でした。</p> <p>30年以上続けてきた24時間相談体制を相談員の不足で昨年より週末に限っておりますが、相談員が増えて早く24時間に戻したいと考えております。</p> <p>助成をいただき一歩ずつ進むことができ感謝しております。</p>	

事業名	「子ども」を学ぶ連続セミナー		
団体名	NPO法人暴力防止情報スペース・APIS	助成額	450,000円
<p>大人が、子どもや暴力に関する正しい知識・情報を身につけ、特に虐待への偏見や思い込みを減らし、子ども支援の場を増やすことを目的に連続セミナーを開催します。</p> <p>そのような大人が増えることで、暴力で苦しむ子どもを少なくし、全ての人を尊重する社会作りにつながる効果を期待します。</p> <p>このたび、助成金をいただいたことで、参加費を無料にすることができ、より幅広い方々へご参加いただけるセミナーの開催が実現します。ありがとうございます。</p>			
<p>〔実施スケジュール〕</p> <p>会場は全て、大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）で開催します。</p> <p>2/12「子どもは本当に凶悪化している?!」</p> <p>2/18「子どものとき言えなかったこと～REAL Voiceからの報告～」</p> <p>2/18・3/4「子どものそばにいるために～話の聴き方～」</p> <p>2/25「スペシャルニーズを理解しよう」</p> <p>2/25「子どもも一人の人間だもの～子どもの人権を理解する」</p>		 <p>より良い事業にするため、会議や作業を何度も重ねています。</p>	

事業名	心理カウンセラーの視点で捉えた「子どもの能力を引き出す親子コミュニケーション」		
団体名	特定非営利活動法人kunこころの宮	助成額	69,000円
<p>今回助成金を頂き、どの様にしたら、親と子の距離間を保ち、子どもが自己責任で行動できるようになるのか「親のあり方」に気づき、実生活に役立つ「親子のコミュニケーション」を学ぶことで親は、子どもをコントロールするのではなく、子ども自身の能力を引き出すことができるようになる、と言う講座を開催しました。</p> <p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座に参加して繰り返しコミュニケーションの取り方を練習することで子育ても成長できると感じました ・ 分かっていたつもりでしたが、子どもの話を上手く聴き、気持ちを伝える事が難しい事を再確認しました ・ 子どもの立場というのをしっかり受け止めるという事が解ると、子どもと対等に！という本当の意味が解った気がしました ・ ロールプレイを通し気付いたこと、大人にとってはささいなことでも子どもにとっては大変な事だったりするので、子どもの目線に立ち対等の立場で関わる事の重要性を感じました などなど <p>詳しくは、kunこころの宮HP http://www.kun-kokoronomiya.org/</p>			



事業名	子育て支援者育成事業		
団体名	NPO法人にしよどにこネット	助成額	250,000円
<p>～ 助成事業を実施して～</p> <p>子育て支援力育成講座～支援者のための学びと、フィールドワーク、活動体験でネットワーク作り～</p> <p>今、子育て現場では虐待や子育て不安の増加が問題になっており解決が急がれます。今回助成を頂き、地域において子育て支援に関わっている方、またこれから関わりたいと希望する方を対象に、現場で必要とされる基本的な援助技術の学習、ケース検討、施設見学ツアーなどを開催し、地域住民・子育て関係機関・NPOが協働し親子を応援するネットワークづくりを目指し、「子育て支援力育成講座」（全6回）を開催しています。</p> <p>【これまでの取り組み】</p> <p>10/16（日）「子育て支援者のソーシャルワーク」講師：寺田恭子准教授（ブル学院短大）</p> <p>11/23（水）「TA：交流分析と子育て支援～チームの力を活かす人であるために」講師：星野恵子先生（マンズリソース主宰）</p> <p>12/17（土）「支援現場での親子対応とペアレントプログラム紹介」講師：白山真知子先生（臨床心理士、元摂津市家庭児童相談室室長）</p> <p>区外、市外からの参加も多く、子育て支援NPOスタッフや親自身、行政職員、保育士、大学教授、教師などそれぞれの立場で学び合い、虐待予防について考え有益な取り組みができました。ありがとうございます。</p> <p>（今後の講座予定）</p> <p>1/21（土）「現場見学バスツアー NPO・行政のまちづくりの実践を学ぼう」見学先：NPO地域福祉サポートちた等 愛知県知多半島周辺施設</p> <p>2/18（土）「行政の子育て支援システムを学ぼう」講師：西淀川区子育て支援室 原由美子係長（保育士）</p> <p>3/20（火・祝）「CSP：コモンセンスペアレンティングプログラムを学ぼう」講師：堀健一先生（情短施設 あゆみの丘 副施設長）</p>			



2011.10.16子育て支援のソーシャルワーク



2011.11.23交流分析と子育て支援



2011.12.17支援現場での親子対応とプログラム